

## カーボフィクス®セメントを使用した 低炭素型の積みブロック（スプリットブロック）を公共工事で初めて採用

太平洋セメント株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長：田浦良文 以下、当社）は、セメント製造段階での二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）発生量が少なく、かつCO<sub>2</sub>との化学反応によって硬化するセメント系材料である「カーボフィクス®セメント」（英語表記：CARBOFIX® CEMENT）を2022年に開発しています。

この度、初めてカーボフィクス®セメントを使用した低炭素型積みブロックが長野県北安曇郡白馬村発注の公共工事に適用されました。カーボフィクス®セメントを使用した積みブロックのCO<sub>2</sub>排出量は、一般的なセメントで製造した積みブロックと比較して約70 kg/m<sup>3</sup>削減できました。

当社は山富産業株式会社（社長：小山航）明科工場において、カーボフィクスセメントを使用した積みブロックを成型し、炭酸化養生（コンクリートにCO<sub>2</sub>を強制的に吸収・反応、硬化させる技術）までの一連の作業を行い、低炭素型の積みブロックを製造しました。また、使用したCO<sub>2</sub>は当社熊谷工場の排ガスから分離・回収しました。

本積みブロックは白馬村役場が発注した公共工事（令和5年度 村道 公共土木施設災害復旧工事）の一部に適用され、2024年6月に施工されました。カーボフィクスセメントを使用し炭酸化養生したコンクリート製品が実際の公共工事に採用されるのは今回が初めてで、コンクリートブロックとして求められる圧縮強度等の性能を満たしていることを確認しました。

当社グループは、「カーボンニュートラル戦略2050」を掲げ、2050年にサプライチェーン全体でのカーボンニュートラル実現に向け、セメントキルン排ガスからCO<sub>2</sub>を分離・回収する技術や、CO<sub>2</sub>を新たに資源として活用するCCUの開発に取り組んでいます。

今回使用したカーボフィクスセメントは、カーボンニュートラルの実現に寄与する革新技術の一つとして期待できるものであり、カーボフィクスセメントを使用したCO<sub>2</sub>吸収コンクリートの早期の社会実装を目指し、カーボンニュートラル社会の実現に貢献できる取り組みを進めてまいります。



写真1 カーボフィクスセメントを使用した積みブロック



写真2 法面復旧工事適用状況

※1：カーボフィクス（英語表記：CARBOFIX）は当社の登録商標です。

＜本件に関するお問い合わせ先＞  
太平洋セメント株式会社 総務部 I R 広報グループ  
TEL. 03-5801-0334 FAX. 03-5801-0344  
e-mail. ir-com@taiheiyo-cement.co.jp